

1. 授業の概要(ねらい)

文化心理学の各論として、西洋の文化とアジアの文化を比較する。
特に、西洋の文化とアジアの文化における幸福観について解説する。

2. 授業の到達目標

- ①社会学と経済学、哲学などの隣接分野との関連を説明できる
- ②多様な価値観を持った社会の成員が存在することを理解し、包摂できる社会を構想できる
- ③さまざまな情報ソースから探し出した関連事例を用いて、課題解決のアイデアを出すことができる

3. 成績評価の方法および基準

毎回のリアクションペーパーの提出(70%)、期末の授業内試験(30%)

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用しない。

参考文献

内田由紀子 『これからの幸福について——文化的幸福観のすすめ』2020 新曜社

5. 準備学修の内容

授業内容に関連する文献等を自主学習すること。
わからない専門用語の意味を自分で調べること。
MELICで図書を検索し借りること。

6. その他履修上の注意事項

文化心理学Ⅰと併せて履修することが望ましいが、文化心理学Ⅱのみの受講も可能である。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 西洋の文化とアジアの文化(1)世界に対する見方について学ぶ
- 【第3回】 西洋の文化とアジアの文化(2)古代ギリシア人と中国人の世界観について学ぶ
- 【第4回】 西洋の文化とアジアの文化(3)思考の違いの社会的背景について学ぶ
- 【第5回】 西洋の文化とアジアの文化(4)企業に対する見方について学ぶ
- 【第6回】 文化心理学の現代的意義について学ぶ(オンライン授業)
- 【第7回】 動機づけについての文化心理学について学ぶ
- 【第8回】 文化的幸福観(1)文化的幸福観の概要について学ぶ
- 【第9回】 文化的幸福観(2)幸福のランキングについて学ぶ
- 【第10回】 文化的幸福観(3)幸福の尺度について学ぶ
- 【第11回】 文化的幸福観(4)文化と幸福の関係について学ぶ
- 【第12回】 文化的幸福観(5)幸福感と幸福観について学ぶ
- 【第13回】 文化的幸福観(6)文化的自己観と幸福観について学ぶ
- 【第14回】 文化的幸福観(7)幸福感の国際比較研究について学ぶ
- 【第15回】 まとめと試験